

第4学年 情報モラル教育学習指導案

1 指導観

○ 本学級の児童は、元気で何事にも好奇心旺盛といえる。パソコンなどの情報機器に興味関心が高く、パソコン室での学習はいつも目を輝かせている。教室で使うパソコンやプロジェクタなども集中して見ている様子である。アンケートによると、家でパソコンを使っている児童はクラス全体の75%という結果が出ている。半数以上がパソコンを利用していることが分かる。家でインターネットを使用している児童は63%で、主な目的はWEBページの閲覧やゲームが挙げられる。また携帯電話を持っている児童は27%という結果が出ている。アンケートから、日常的に情報機器に触れている児童は多いことが分かった。しかし、家でパソコンを利用するときのルールがあるか聞いてみると、40%ということで、半数にも達しなかった。携帯電話を使用するときのルールがあるか聞いてみると、44%と、これも同じような結果が出た。そして情報モラルという言葉を知っているか聞いてみると、聞いたことがあるが意味を知らないが18%。聞いたことがないが69%。意味を知っている児童は0%という結果が出た。情報機器に触れる児童は多いが、ルールやマナー、情報モラルの認識についてはかなり低いという結果が出た。情報モラル教育を確実に指導し、情報機器に対しての正しい知識、利用を学ぶ必要があるといえる。また本指導案では、日常的に短時間で情報モラル教育の指導ができるように、授業時間を15分間とした。

○ 児童の実態に考慮して、以下の点に留意して指導を行っていく。

まず、パソコンのインターネットを使用する上で気をつけること、大切なことを学ぶようにする。今までに児童は家だけでなく、学校の調べ学習などにおいてもWEBページを開き、必要な情報を集めてきた。しかし、インターネット活用に対する正しい知識、対処をしっかりと身につけないまま検索しているため、個人によって検索能力が非常に異なっていた。また、友達同士で興味本位にWEBページを開いている場面も少なくなかった。インターネット上に潜む危険なサイトを理解し、インターネットの基本的なルール、マナーを学ぶことで、安全に調べ学習ができるようにする。

次に、インターネットにある多くの情報は必ずしも正しくないことを知る。偏った情報だけでなく、多くの情報を取捨選択して実践していくことで、確かな調べ学習を実現できるようにする。

次に著作権について考える。WEBページの閲覧について知識を得たことで、著作物に意識せず気軽に自分の物にしようとして取り入れてしまう恐れもある。身の回りのものに著作件があるだけでなく、友達が製作したのもでも著作権が発生することを理解し、自分や友だち、WEBページ上の作品を大切にする気持ちを育てる。

次は電子メールの書き方について考える。電子メールは気軽に自分の知らせたいことを送信できる利点がある。しかし、電子メールは相手の顔が分からないため、表情や考えていることまで理解することができない。それゆえに電子メールを使ったことで伝えたかったことと異なるニュアンスで相手を不快にさせてしまう恐れがある。どんな文章にすれば相手に本当の気持ちが伝わるか考えるようにする。手紙のやりとりも増えてきたので、メールに限らず文章について考える時間といえる。

最後にネット依存と健康について考える。本学級の児童はパソコンを使える環境であっても、毎日多くの時間をインターネットに費やしているわけではない。しかし、テレビゲーム、携帯ゲーム、テレビなどを当てはめると総合的に情報機器、電子機器を利用している時間は非常に高いといえる。長い時間情報メディアに関わっている心身ともに不健康になり、日常生活に支障を来す場合がある。それを知らないまま、インターネットの魅力にとりつかれネット依存になってしまえば、多くのものを失ってしまう。ネットの魅力にはまりすぎないように、自分の体について考えるために、コンピュータの使いすぎの恐ろしさについて学んでいくようにする。

これらの活動を通して基本的な情報モラルの知識を身につけ、正しく情報機器を利用していくようにする。

2 指導計画

	題材名	◎目標 ※指導内容
1次	インターネットの正しい利用について考えよう	◎インターネットを利用するときのルールとマナーを知り,理解することができる ※パソコンのインターネットを使用する上で気をつけること,大切なことは何か話し合う
2次	情報の信憑性 ～正しい情報とは何か考えよう～	◎インターネットの情報にはまちがったものがあることを知り,理解することができる ※プレゼンテーションを見て,WEB ページの情報が必ずしも正しいとは限らないことを知る
3次	著作権とは何か考えよう	◎著作権を知り,自分の情報や他人の情報を大切にすることができる ※友だちのデータをコピーしてしまった話をもとに,著作権について考える
4次	手紙(メール)の書き方を考えよう	◎メールを受ける側の気持ちを考えて文章を組み立てることを理解する ※メールの文章で友だちを気付かないうちに傷つけてしまう話を読み,考える
5次 (本時)	ネット依存について考えよう	◎ネット依存を知り,心身の健康に問題が起きないようにコンピュータを楽しむことを理解することができる ※インターネットの楽しさについて考えるとともに,コンピュータをしすぎる危険について考える

3-1 本時指導案

1 題材名 インターネットの正しい利用について考えよう

2 教材観

社会科や総合的な学習の時間でよく行われることの一つに調べ活動がある。自分で、またはグループで何かを調べることで、個々の考えを深めたり友だちにわかったことを知らせたりするためにある。この調べ学習は、今、学んでいる学習内容をさらに深めるだけでなく、大人になって社会に出たときに求められる資料検索能力にも通じる。調べる方法には図書館での本の調査、情報を知っている人へのインタビューのほかに、パソコンのインターネットを使つてのWEBサイト検索がある。WEBサイトには多くの情報があふれていて、一見多くのデータを気軽に取り入れられる感覚がある。しかし、実際の調べ学習の場では、自分の調べると決めたテーマに関係しそうなものを探し、書いたことをそのまま書き写して情報が集まったことに満足してしまっている姿が多く見受けられる。ネットで検索し、必要なページを印刷したりコピーしたりするだけでは学習効果も深まらないし著作権侵害にもつながってくる。そこで、何をどう調べるか、集まった情報から何が分かったのか、予想と比べてどうだったか、どのように発表するかなど調べ学習の方法をきちんと身に付けておく必要がある。

また必要な情報を取り入れているときに、謝って別のサイトに行ったり、興味本位で子どもが開いてはいけないサイトに行ったりしてしまう場合がある。そのときの対処はどう考えているか。メールの機能、危険について知っているか、など情報をやりとりする上でのインターネットの基本的なルールやマナーを知り、守るようになる。

3 本時

(1) 情報モラル指導のねらい (c2-1, d2-1)

インターネットを利用するときのルールとマナーを知り、理解することができる。

(2) 準備



パソコン、プロジェクタ、スクリーン、プレゼンテーションソフト、ワークシート

(3) 評価

○班の友だちと、インターネットのルール・マナーについて話し合うことができた。

○情報をやりとりする場合のルール・マナーを知り、守ろうとすることができた。

(4) 展開

教材	学習活動・内容	指導上の留意点	配時
<div data-bbox="108 459 271 571" style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> <p>めあて 調べ活動をするために、インターネットの正しい利用について考えよう</p> </div> <div data-bbox="108 616 271 750" style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> <p>ウェブサイトけんさくで、やってはいけないことは何だろう </p> </div> <div data-bbox="108 772 271 884" style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> <p>☆調べたいサイトと関係のないサイトを開かない。サイトが出たときはすぐに閉じるようにする。 ☆どうしたらいいかわからないページは先生に相談する。</p> </div> <div data-bbox="108 907 271 1019" style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> <p>☆知らないメールが来たときは開かないで、大人の人に知らせるようにする。 ☆メールや掲示板上で人の悪口を書かないようにする。</p> </div> <div data-bbox="108 1142 271 1265" style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> <p>ウェブサイトけんさくで、正しい調べ方、資料のまとめ方は何だろう </p> </div> <div data-bbox="108 1288 271 1400" style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> <p>☆書かれている文を、そのまま書き写してはいけない。一自分の考えを入れて、読みやすくする。 ☆予想と比べて、自分の意見を持つようにする。</p> </div> <div data-bbox="108 1444 271 1556" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>まとめ ルールやマナーを守って、インターネットを正しく利用しよう</p> </div>	<p>1 これまでの調べ活動をふりかえる。</p> <p>2 本時のめあてを確認する。 めあて 調べ活動をするために、インターネットの正しい利用について考えよう</p> <p>3 WEBページ検索でやってはいけないことを班で話し合う。</p> <p>4 WEBページ検索で正しい調べ方、資料のまとめ方は何か、班で話し合う。</p> <p>5 本時の学習を振り返る。 ・ワークシートにふり返りを書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・どんな調べ活動を行ってきたか、考えさせる。 ・インターネットが出てきたら大きく取り上げる。 ・インターネットを利用する上でルールがあることを知っているか尋ねることで意識を高めていくようにする。 ・危険なサイトを開いたとき、知らないメールがきたときどうするか考えさせる。 ・調べるものと関係のないページが出てきたら、すぐにウインドウを閉じることを知らせる。 ・どうしたらいいかわからないページが出てきたら、先生に相談することを知らせる。 ・メールや掲示板で人の悪口を書かないようにする。 ・調べたことを自分の言葉でまとめることを知らせる。 ・ただ資料を写しただけでは勉強にならないことを知らせる。 ・情報を集めて終わりではない。予想と比べて、自分の考えを持つようにする。 ・他人の文章を勝手に使わないことを知る。 	<p>2</p> <p>1</p> <p>5</p> <p>5</p> <p>2</p>

情報モラル学習のプリント

() 月 () 日 () 回目 名前 ()

☆ めあて

--

☆ メモ（自分の考えを書いたり, 大切な文章を書いたりしよう。）



☆ 今日の学習内容をよく理解することができましたか？（○をつけよう）

よく分かった 大体分かった あまりわからなかった まったくわからなかった

☆ よく班で話し合ったり, 意見を言ったりすることができましたか？（同じ）

よくできた 大体できた あまりできなかつた まったくできなかつた

☆ 今日の情報モラルの学習で, 学んだことや感想を書こう

